

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5 年 10 月 20 日

事業所名 てらびあぼけっと 岡崎羽根北教室

保護者等数（児童数）33(1家庭兄弟利用) 回収数 32 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	29	1		2	通所し始めたばかりのため分からない。	職員配置は基準を十分に満たしており、専門職員の配置もしております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30			2	・昨年度から改善していただき、ありがとうございます。落ち着いてお話を伺うことができています。	今後とも、ご不便な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32					
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	31			1		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	39			3		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	39	1		2	通所し始めたばかりのため分からない。	個別セラピーでは、個別支援計画に沿ったプログラムを毎回構成させていただいております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	38	2		2	話す・聞く・手先を動かすなど、いろいろなことに取り組むことができています。 ・絵カードが多い。	個別支援計画に沿ったうえで、お子様が楽しく取り組むことができるよう環境を整えさせていただいております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	2	8	8	事業所経由ではないという認識。 通っている園で交流・活動するので問題ない。	現在、実施できておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	7	5	7	・面談以外ではない。 ・「こんな時家庭ではどうするか」が明確になると日々生活しやすくなりそう。 ・家庭で取り入れるとよいことがあれば、教えてほしい。	必要に応じて、ご希望いただいたご家族様に実施させていただいております。ご希望の際は、お気軽にお問い合わせください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31		1			
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	1	1	1	通所し始めたばかりのため分からない。	最長半年おきに、面談を実施させていただいております。その他ご希望に合わせて、随時ご相談等をお受けしております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	13	10	特に必要性を感じない。 特に問題ない。	現在、実施できておりません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30			2	いつも速やかに対応していただき、ありがとうございます。 問題行動が起きた時に迅速に対応していただき、考え方をアドバイスしていただき、即座に子供への対応を実施できるのでとても助かっている。	必要に応じて、ご希望いただいたご家族様に実施させていただいております。ご希望の際は、お気軽にお問い合わせください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31			1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	2	1	5	HPを見ていません。	リタリコ発達ナビさんにて、ブログを公開させていただいております。 ぜひご覧ください。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	31			1			

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	30		1	1	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31			1	表の入り口以外に脱出ルートはありますか？ (入り口で何かあった時のために) 玄関以外の通用口はありません。 入り口でのトラブル時の対応を、早急に検討します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	29	3			行けば楽しんでいきます。 少しだけ行きたくなさそう。特にイレギュラーな日程は嫌がる。 お子様たちに楽しく通っていただけるよう、環境設定・雰囲気づくりに努めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	30			2	・通所して一年になりますが、子供が著しく成長し、感謝の気持ちでいっぱいです。いつも暖かく丁寧に支援していただき、ありがとうございます。 ・通所し始めたばかりのため分からない。 ・いつも丁寧な対応、ありがとうございます。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、これからもよろしく願っています。 ・家にはない教材を使って物の大小などの勉強をしたりして、本当に助かっています。言葉

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 10 月 20 日

事業所名 てらびあぼけっと 岡崎羽根北教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切であるか	6			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		構造化による視覚支援を各所に行っている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		感染対策を含めた、衛生管理 使い終わったおもちゃは消毒している。 幅広い年齢に合わせたおもちゃを用意している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		毎月の個人目標・教室目標の設定と振り返りの実施 すべての職員が、議事録などに目を通している	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		集計したご意見を周知し、改善点の検討・共有を行っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ブログにリンク付けし、アナウンスする	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		定期的に本部SVの指導を受けている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月の社内研修の実施	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		密な情報共有ができています	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		密な情報共有ができています	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		年齢やニーズに合わせた活動の計画・実施	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		カンファでの共有	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		カンファでの共有	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			

関係機 関や保 護者との 連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っている	4	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3		該当児無し
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3		該当児無し
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	家庭連携による園の訪問	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	連絡会への参加	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	家庭連携による園の訪問	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		毎回のフィードバックの実施	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2		ご希望のあった保護者様に向けて実施
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に必ず実施	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		定期的な面談のほか、事業所内相談支援の実施。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		現時点で、予定・計画はできていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	なるべく毎週ブログを更新できるようにしている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報は必ず、鍵付き書庫にて管理	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2		保護者への各種マニュアル周知はできていない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年2回の避難訓練の実施 一週間避難訓練週間とし、全利用児が体験できるようにしている。保護者へも事前周知している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		アセスメント時に聞き取りを行い、その後は接種の前後に保護者から聞いている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5		食事提供はないため
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2		現状、必要性のある利用児はいない